

7月15日からの大雨に関する被害状況等について（第12報）

※ これは速報であり、数値等は今後変わることもあります。

1 気象状況 気象庁発表

- 7月14日から16日にかけては東北地方に梅雨前線が停滞し、前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだ影響で、前線の活動が活発となり、東北地方の北部を中心に大雨となった。秋田県の複数の地点で、24時間降水量が観測史上1位の値を更新したほか、総降水量は秋田県の多い所で400ミリを超え、秋田県や青森県では平年の7月の月降水量を大きく上回る記録的な大雨となった所があった。
- また、7月18日から19日にかけても前線の活動が活発となり、岩手県や秋田県で日降水量が100ミリを超える大雨となった所があった。

2 体制等

- 非常体制：気象庁
- 注意体制：本省、東北地整、東北運輸、国土地理院、国総研

3 一般被害情報（消防庁 HP 7/27 9:30 時点）

○人的被害

- ・死者1人（秋田1）

○住家被害

- ・全壊2棟（秋田2）
- ・半壊1棟（秋田1）
- ・床上浸水1,644棟（秋田1,644）
- ・床下浸水1,167棟（岩手2、秋田1,165）

4 被害情報等

(1) 河川（7/28 7:00 時点）

○国管理河川

・雄物川水系雄物川、米代川水系米代川の無堤部での浸水被害を確認（概ね解消）。

- ・その他の河川の被害については内水被害を含めて調査中。

○県管理河川

・秋田県において、6水系16河川で氾濫が発生（概ね解消）。このうち、雄物川水系岩見川では、堤防が決壊し、農地が浸水（応急復旧中）。

- ・その他の河川の被害については内水被害を含めて調査中。

(2) ダム

○洪水調節（事前放流を含む）を実施 22 ダム

22 ダムのうち、事前放流の基準に達したダム 6 ダム

- ・事前放流を実施 2 ダム（うち、利水ダム 0）
- ・すでに事前放流の容量を確保 4 ダム（うち、利水ダム 1）

※基準降雨量との関係やダムの運用について評価中であり、数値が変更となる場合があります。

○特別防災操作（通常の洪水調節よりも大幅に流量を抑制する操作）を実施 1 ダム 雄物川水系雄物川玉川ダム（国管理）、雄物川の被害を軽減

○異常洪水時防災操作を実施 3 ダム

雄物川水系旭川旭川ダム（秋田県管理）、下流河川の氾濫なし

米代川水系小阿仁川萩形ダム（秋田県管理）、移行前から下流河川の氾濫あり

雄物川水系三内川岩見ダム（秋田県管理）、下流河川（三内川）の氾濫はないが合流する岩見川の下流で氾濫あり

(3) 砂防

○土砂災害（7/28 8:30 時点）

- ・5 件（秋田県 4、新潟県 1）
 - 人的被害 負傷者 4 名（秋田県（秋田市 4））
 - 人家被害 全壊 2 戸（秋田県 2）
半壊 1 戸（秋田県 1）
一部損壊 2 戸（秋田県 2）

○土砂災害警戒情報（7/28 7:30 時点）

8 都県 47 市町村に発表（青森県、岩手県、秋田県、山形県、東京都、島根県、愛媛県、大分県）

※全て解除済み

(4) 道路（7/28 7:30 時点）

○高速道路

被災による通行止め：なし
雨量基準超過等による通行止め：なし

○有料道路

被災による通行止め：なし
雨量基準超過等による通行止め：なし

○直轄国道

被災による通行止め：なし
雨量基準超過等による通行止め：なし

○補助国道

被災等による通行止め：1 路線 1 区間

国道 403 号（長野県飯山市）：路肩崩落

○都道府県道等

被災等による通行止め：4 県 17 区間

秋田県 14 区間（土砂流入 4、土砂崩れ 4、路肩崩壊 1、道路損壊 4、路面冠水 1）

山梨県 1 区間（土砂流出 1）

愛知県 1 区間（土砂流入 1）

京都府 1 区間（路肩崩壊 1）

※この他、秋田県五城目町の町道で橋梁損傷あり（TEC-FORCE による復旧等への技術的助言を実施）

(5) 鉄道（7/28 7:30 時点）

<新幹線>

【運転を見合せている路線】：なし

【今後、運転を見合わせる予定の路線】：なし

<在来線>

【被災状況】

J R 東日本

五能線 複数箇所で路盤流出等（8 月 11 日始発から運転再開見込み）

奥羽線 電柱傾斜等（7 月 31 日始発から運転再開見込み）

北上線 路盤流出（8 月上旬頃の運転再開見込み）

【運転を見合せている路線】：1 事業者 3 路線

J R 東日本：五能線、奥羽線、北上線

【今後、運転を見合わせる予定の路線】：なし

(6) 航空

○運航に支障となる空港施設等の被害情報なし

○運航への影響

15 日 欠航便 2 便（JAL2 便）

16 日 欠航便 6 便（JAL6 便）

20 日 欠航便 2 便（ANA2 便）

(7) 自動車（7/28 7:00 時点）

○運休状況等

- ・高速バス：運休、一部運休なし
- ・路線バス：2 事業者 5 路線運休、2 事業者 11 路線一部運休
- ・宅配事業者：大手 1 事業者において一部地域で集配遅延
- ・トラック事業者（秋田県内）：施設浸水、車両水没等 8 事業者

(8) 港湾

- ・ 秋田港で漂流物（流木等）を確認。港湾利用に支障なし。
- ・ その後、潮流等の影響で漂着物が港外へ流出。

(9) 下水道

- 秋田県秋田市：汚水中継ポンプ場 1 箇所が浸水（応急復旧済）
- 秋田県三種町：マンホールポンプ 1 基が浸水（応急復旧済）
- 秋田県能代市：マンホールポンプ 3 基が浸水（応急復旧済）

(10) 観光

- ・ 青森県西津軽郡深浦町の宿泊施設 1 軒で浸水等による被害
- ・ 秋田県内の宿泊施設 6 軒（秋田市 2 軒、湯沢市 1 軒、由利本荘市 1 軒、大仙市 1 軒、北秋田市 1 軒）で浸水等による被害

(11) 公園・都市

- 都市公園：4 施設被災（秋田県 4）

(12) その他（海岸、海事、物流）関係の状況

- ・ 被害情報なし

4 国土交通省の対応

(1) 災害対策本部会議等

- 7/24 石井副大臣が秋田県の被災状況を視察
- 7/26 斉藤大臣が秋田県の被災状況を視察予定
- 国土交通省災害対策連絡調整会議（7/13、7/14、7/18）

(2) ホットライン構築状況

東北の 119 市町村とホットラインを構築（青森 40、岩手 19、秋田 25、山形 35）

(3) TEC-FORCE 等【本日 32 名派遣】（のべ 404 人・日）

- リエゾン：1 県 3 市町へ 6 名を派遣中

（秋田県 1、秋田市 1、五城目町 2、八峰町 2）

- 被災状況調査班等：26 名を派遣中

- ・ 秋田県内において、東北地整による道路、河川の被災状況調査等を実施
- ・ 秋田市において、本省都市局による堆積土砂排除事業の支援（7/25）

- ヘリコプターによる被害状況調査

- ・ 防災ヘリ（みちのく号） 秋田県を調査 7/17、19

(4) 災害対策用機械等の出動（のべ 144 台・日）

- ・ 排水ポンプ車 秋田県内（7/15～7/20）
- ・ 照明車 秋田県内（7/15～7/20）
- ・ 散水車 秋田県内（7/17～現在）2 台を派遣

- ・路面清掃車 秋田県内 (7/18~7/19、7/25~現在) 1台を派遣
- ・待機支援車 秋田県内 (7/19~7/20)
- ・トンネル清掃車 秋田県内 (7/28~現在) 1台を派遣

(5) 給水支援

- ・大雨による断水被害を受け、男鹿市から東北地整に対し、給水袋の支援要請あり。その対応の一環で、関東地整港湾空港部の東扇島地区基幹的広域防災拠点より東北地整に給水袋 780 袋を支援、東北地整から男鹿市へ提供済み (7/18)。同じく、(一社)日本建設業連合会、(一社)日本埋立浚渫協会から、東北地整との災害時の協定に基づき、八峰町へ給水袋 2,000 袋を提供済み (7/20)、男鹿市へ給水袋 4,200 袋を提供済み (7/19, 7/21)
- ・男鹿市へ給水機能付散水車 1台を派遣 活動終了。(7/18~7/19)
- ・五城目町へ給水機能付散水車 2台を派遣 活動終了。(7/20~7/24)

5 気象庁の対応

- 気象庁では気象情報等を適時に発表し、報道機関を通じて警戒の呼びかけを実施。
- 各地の気象台は、JETT (気象庁防災対応支援チーム) の派遣 (のべ 54 人・日) やホットライン等により、警戒を要する自治体等に今後の見通しについて解説を実施。

6 海上保安庁の対応

(1) 体制等

- 7/15 第二管区海上保安本部 対策室設置 (7/20 17:00 閉鎖)

(2) 対応状況等

- 海の安全情報 0件

○リエゾン派遣

7月15日 4名 (青森県庁 2名・秋田県庁 2名)
 7月16日 4名 (青森県庁 2名・秋田県庁 2名)
 7月17日 2名 (秋田県庁 2名)
 7月18日 3名 (秋田県庁 3名)
 7月19日 3名 (秋田県庁 3名)
 7月20日 2名 (秋田県庁 2名)

○沿岸域被害状況等の調査 (延べ数)

固定翼 2機 (7月16日、17日)
 巡視船 3隻 (7月15日、16日)

○給水支援

7/16~7/20 秋田県からの要請に基づき、秋田県男鹿市船川港において、巡視船しもきたによる給水支援を実施

問合先：水管理・国土保全局防災課災害対策室 小林
代表：03-5253-8111 内線35-822
直通：03-5253-8461